


あんど

 社協だより



ホームページQRコード



認知症講演会を開催しました



認知症講演会

**ぼけますから、
よろしくお願ひします。**

先着100名
認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私～
泣きながら撮った1200日の記録

日時 令和8年2月24日(火)
13時～16時

場所 安堵町福祉保健センター2階視聴覚室

第1部 『チームオレンジあんど活動紹介』
チームオレンジあんど代表 沖野 光治氏

ドキュメンタリー映画上映 (102分)
『ぼけますからよろしくお願ひします』

第2部 講演会

ひとり娘
ドキュメンタリー監督
信友 直子 氏

1901年広島県生まれ。東京大学卒業。在京中一冊で取多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル受賞など多数受賞。

令和元年度文化庁映画賞文化記録映画大賞

申し込み
裏面のFAX
またはお電話



令和8年2月24日(火) 安堵町福祉保健センター視聴覚室にて認知症講演会を開催しました。

第1部はドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願ひします。』の映画鑑賞を行い、第2部では、そのドキュメンタリー映画の監督でもあり、映画に登場する老夫婦の一人娘でもある信友直子氏にご講演頂きました。町内外から150名という多くの方が参加して下さいました。認知症を患う母と、その母を介護する高齢の父親のありのままの日常を撮影した映画や、映画鑑賞後の信友氏の講演はとてもわかりやすく身近に感じられ、認知症を他人事ではなくまさに自分事として考える機会となったと思います。今後も「安心して認知症になれる安堵町」を目指していきます。

赤い羽根共同募金



ご協力いただきありがとうございました。

昨年10月から3月にかけて実施した赤い羽根共同募金運動は町民の皆様をはじめ、自治会や在勤の皆様方のご理解ご協力をいただき、たくさんの募金をいただくことができました。

令和7年度に集まった募金は、奈良県共同募金会を通じて令和8年度に地域福祉配分金として安堵町に配分され、地域で活動している団体等へ助成いたします。

ご協力いただきました皆様には、心からお礼申し上げますとともに、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年度に
集まった募金額
481,223円



生活支援サポーター養成講座を行いました。

令和8年2月16日(月) 13:10~15:45

- ① 認知症の理解(地域包括支援センター田中氏)
- ② ボランティアの理解
- ③ 現任サポーターと交流会
(②③奈良県社会福祉協議会田中氏)

交流会では新任サポーターと現任サポーターで実際の事例を基に話し合いを行いました。

受講していただいた新任サポーター5名の方、現任サポーター6名の方ありがとうございました。



生活支援サポーター、ボランティアは随時募集しております。興味のある方は、お気軽に安堵町社会福祉協議会までお問い合わせください。

令和7年度 助成金事業報告

皆さまより寄せられた募金による配分金は、安堵町内の地域福祉活動をされている団体等へ助成しております。

令和7年度は**396,758円**を6団体へ助成させていただきました。

令和7年度助成先団体

小泉苑いずみの会
かしの木台老人クラブ
しゃべりばカフェ東安堵南
歌声喫茶「安堵」
「地域サロン・ナデシコ」
安堵町社会福祉協議会



令和8年度も助成事業を行います。詳しくは、広報「安堵」4月号の折り込みチラシを御覧ください。

皆さまの善意をお待ちしております。

氏名(敬称略)	金額(円)
安寿会新法隆寺興人支部	10,000円
安寿会笠目支部	3,989円
安寿会中窪田支部	3,477円
安寿会岡崎支部	7,499円
灯芯保存会	30,000円
安寿会柿の里支部	4,279円

【一日募金】
令和7年12月15日~令和8年3月31日

社会福祉事業運営基金にご寄付
ありがとうございました

5月・6月を「赤十字社員増強運動月間」と定め、赤十字思想の普及と活動資金(社資・寄付金)の募集を行っています。
安堵町では赤十字奉仕団や地域のボランティアの方々と連携し、さまざまな救護・支援活動をおこなっています。また、救急法、幼児安全法など講習会の普及活動や献血事業の推進など、諸事業の充実を図っています。
赤十字社がこれら多様な活動を展開するための財源は、皆様からお寄せいただく社資(募金)によって支えられています。
今年も5月より赤十字社員増強運動を実施いたします。皆様のご理解とご協力をお願いします。



「赤十字運動月間です」

～ 民生・児童委員協議会だより ～

「民生・児童委員の日 活動強化週間」のお知らせ

○取組趣旨

安堵町民生・児童委員協議会は「民生・児童委員活動強化週間」においてPR活動を行うことで地域住民の皆様方をはじめ、関係機関・団体等に民生・児童委員の活動を知っていただき、さらなる理解を深めてもらうことを目指しています。



○強化週間の期間

令和8年5月12日（火）
～令和8年5月18日（月）

災害時・緊急時の防災対策調査について

あなたの地域の民生委員さんが在宅高齢者世帯の実態調査のため、ご自宅にお伺いします。調査対象の方々におきましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

調査目的：緊急時・災害時の対応や、避難活動に活かすための資料作り

調査項目：住所・氏名・緊急時の連絡先・かかりつけ医
介護サービス利用状況・緊急を要する持病等

調査対象者：令和8年4月1日時点で満70歳以上の方

調査期間：令和8年5月～令和8年9月まで



日常生活自立支援事業について

あなたの暮らしの
【安心】をお手伝いします



物忘れのある高齢者や、生活に不安のある知的障害者・精神障害をお持ちの方が、福祉サービスなどに関することや、普段のお金の扱いについて安心して生活ができるように社協の職員や生活支援員がお手伝いします。

相談・調査により本事業の対象に該当すると見込まれた場合は、法律、医療、福祉の専門家等で構成された契約締結審査会で審査をし、利用の可否を決定します。

契約後の支援には利用料がかかります。生活保護を受給している方は無料です。

- ・利用料 1時間あたり 1,200円
- ・交通費 300円

※今後、利用料を変更する場合があります。

生活支援員になりませんか

高齢の方や障害のある方など、ひとりで判断することに不安を感じる方の福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を、ご本人との契約に基づき支援します。

生活支援員は、利用者のお宅などを定期的に訪問し、住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援します。

- お手伝い内容** ● 福祉サービスの利用に関する相談や助言、情報提供 ● 家計相談や必要な支払いへの助言 ● 支払いの同行や代行 ● 郵便物の確認
- 募集対象** ● 資格がなくても活動できます(ただし、活動前に講習の受講が必要)
- 安堵町内在住の方 ● 年齢不問
- 普通自動車第1種運転免許があれば尚可
- 有償の活動です
- 活動頻度** ● 1回の支援はおおむね1時間から1時間30分程度 ● 月1回程度

緊急小口等特例貸付借受人 フォローアップ支援事業について

安堵町社会福祉協議会では、緊急小口等特例貸付を借り受けた方や、償還中の方に対して生活相談や生活支援を行っています。

借受人の方のみならず、生活にお困りの方に向けて緊急時の食料支援の為に物品を購入いたしました。食料支援や相談を希望される方はお気軽にご相談ください。



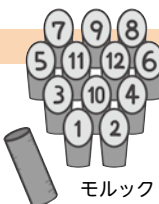
貸出備品のご案内

安堵町社会福祉協議会では、サロン・自治会・ボランティアグループや各種団体等でご利用いただける物品の無料貸出を行っています。ぜひ、ご活用ください。

貸出にあたりましては、事前に安堵町社会福祉協議会へお問い合わせください。

【主な貸出物品】

- ベビーベッド
- ポップコーン機
- だれでもカルタ
- メロディベル
- あしづみラダー
- ラダーゲッター
- 3人乗り自転車（お子様用ヘルメット）
- 綿菓子機
- 車いす
- モルック（令和8年4月貸出開始）
- レクレーション本
- 電子ピアノ
- 輪投げ



いきいき百歳体操400回記念

柿の里自治会が、令和8年4月10日に400回記念を迎えられました。おめでとうございます。これからも楽しく継続して、さらに健康寿命を延ばしていきましょう。



安堵こども食堂



～ 奈良県ぴ～すぺ～すプロジェクト募金のご協力ありがとうございました ～

奈良県共同募金会が実施している「奈良県ぴ～すぺ～すプロジェクト」は子どもが安心して過ごせる居場所を支援する目的で令和3年度から開始され、安堵こども食堂も初めて「赤い羽根募金奈良県ぴ～すぺ～すプロジェクト募金」に令和8年1月1日～令和8年3月31日まで取り組ませていただきました。

安堵町内で集めさせていただいた金額は**109,811円**でした。

地域の皆さまからあたたかいご寄付をいただき心より感謝申し上げます。これからも地域の居場所を育み人と人とのつながりを豊かにしていきます。

本当にありがとうございました。

毎月第2土曜日 モーニング・ランチ
第3日曜日 ランチ

開催しております。
皆さま、どうぞお越しくくださいませ。



令和8年2月24日
認知症講演会募金活動の様子

《お問い合わせ》飯田 ☎090-9879-0802

町の人口 （令和8年
4月1日時点）

◆総人口 6,898人（高齢化率 37.1%）

●65歳以上人口 男 1,122人 女 1,440人 計2,562人

社会福祉協議会
地域包括支援センター

✉ anshakyo@snow.ocn.ne.jp
✉ andohoukatu@snow.ocn.ne.jp
電話 0743-57-2523